

http://www.ipa.go.jp/security/awareness/administrator/secure-web/chap4/4_ntpd.html

ntpd をインストールし、/etc/inet/ntp.conf で設定する。
このサービスで自分の時間を上位 NTP サーバと同期しつつ、
自分を NTP サーバにする。

---ntp.conf ファイル---

```
# 一方的に時刻を同期する上位 NTP サーバを指定する
server 210.xxx.xxx.x

#NTP デーモンが時刻の変動を記録する driftfile を指定する
driftfile /etc/inet/ntp.drift

# デフォルトでは全てのホストとの NTP 通信を許可しない
# 対象 NTP サーバに「default」または「0.0.0.0」と指定すると
# デフォルトのルールを記述したことになる
# 最後にマッチした行の制限がかかるので、最初にデフォルトを記述する必要がある
restrict default ignore

#localhost はアクセス制限なし
restrict 127.0.0.1

# 組織内ネットワークからの時刻問い合わせにのみ応答する
restrict 192.168.0.0 mask 255.255.255.0 noquery nomodify nopeer notrust notrap

# 一方的に時刻を参照する上位 NTP サーバからの NTP 通信を限定する
restrict 210.xxx.xxx.x noquery nomodify
```

キーワード	解説
server	一方的に時刻を同期する NTP サーバを指定
peer	相互に時刻を同期する NTP サーバを指定
restrict	指定した NTP サーバとの NTP 通信を許可

キーワード「restrict」では、オプションを指定し、NTP 通信の動作を設定することができる。

オプション	解説	構文
ignore	すべての NTP パケットを無視	restrict <対象 NTP サーバ> ignore
nomodify	時刻問い合わせに回答するが、 時刻の変更要求などは無視	restrict <対象 NTP サーバ> nomodify
notrust	時刻問い合わせに回答するが、 自身の時刻合わせには使用しない	restrict <対象 NTP サーバ> notrust
nopeer	指定ホストと相互に同期しない	restrict <対象 NTP サーバ> nopeer
noquery	NTP の実装に依存する時刻問い合わせを無視	restrict <対象 NTP サーバ> noquery